

令和3年度第2回千葉地域医療構想調整会議 開催結果

- 1 日 時 令和4年1月24日（月）午後7時から午後7時45分まで
- 2 会 場 w e b会議（千葉県庁本庁舎5階応接室）
- 3 出席者 委員等総数29名中24名出席
齋藤（博）会長、大濱委員、古川委員、斉藤（浩）委員、柴田委員、日向委員、中村（達）委員、寺口委員、杉崎委員、飯島委員、一戸委員、景山委員、鈴木委員、齋藤（幸）委員、宮田委員、星岡委員、山本委員、寺井委員、佐藤委員、上野委員、平山委員、山元委員、秋元委員、竹内地域医療構想アドバイザー
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 健康福祉政策課長あいさつ
 - (3) 議事
 - ア 2025年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針について
 - (4) 報告事項
 - ア 千葉県保健医療計画の中間見直しについて
 - イ 地域医療構想研究会について
 - ウ 新型コロナウイルス感染症に係る発熱患者等への対応について
 - エ 新型コロナウイルス感染症に係る後遺症患者への対応について
 - オ 今後の主な協議事項について
 - (5) 閉会
- 5 議事概要
 - (1) 2025年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針について
 - ア 事務局説明
資料1、2、3、4により、事務局から説明
 - イ 地域医療構想アドバイザーからのコメント
千葉県千葉リハビリテーションセンターについて、例えば一般的な診療報酬を算定しているわけではないことから、いわゆる病床機能の変更に該当するか難しい判断となるが、千葉県全体の障害者に特化した需要と供給などを考えて変更されていると考えられるため、しかるべき手続きとして、調整会議での検討は重要であると思う。
いずれにせよ、障害者の医療、あるいは福祉といったものが充実していくという観点から見て、適切な判断をしているかと考える。
そのほか、色々病床に関しての検討があるが、手続き的に適正な方向に進んでおり、各医療機関はより透明性、可視化が進んでいるのではないかと判断している。
 - ウ 意見交換・質疑応答等
(委員)
非稼働病棟の今後の見通しについて、一昨年度の報告から稼働していない、回答がない医療機関に対する報告期限等についてどう考えているのか。

(事務局)

非稼働状況にある医療機関に対し、早期稼働を指導しているところであるが、様々な原因により稼働の見通しが立たない場合は病床の返還を求めているところである。

また、未報告の医療機関については催促しているところであるが、引き続き状況把握に努め、限られた資源である病床の有効活用に取り組んでいきたい。

6 報告事項概要

(1) 千葉県保健医療計画の中間見直しについて

ア 事務局説明

資料5により、事務局から説明

イ 意見交換・質疑応答等

特になし。

(2) 地域医療構想研究会について

ア 事務局説明

資料6により、事務局から説明

イ 意見交換・質疑応答等

(委員)

地域医療構想は多職種連携も関わってくることから、研究会のメンバーやオブザーバーに看護職を加えることはできるのか。

(事務局)

御指摘のとおり、地域医療提供体制は様々な職種によって支えられている。

本事業は来年度県医師会に委託予定であるので、構成員のパターンについて県医師会と相談し、いただいた意見の共有を行う。

(3) 新型コロナウイルス感染症に係る発熱患者等への対応について

ア 事務局説明

資料7により、事務局から説明

イ 意見交換・質疑応答等

特になし。

(4) 新型コロナウイルス感染症に係る後遺症患者への対応について

ア 事務局説明

資料8により、事務局から説明

イ 意見交換・質疑応答等

特になし。

(5) 今後の主な協議事項について

ア 事務局説明

資料9により、事務局から説明

イ 意見交換・質疑応答等

特になし。

7 地域医療構想アドバイザーより総括コメント

本日の議論、コロナへの対応も含めての議論になり話が複雑になっている。

もともと地域医療構想の前提としてコロナ対応は想定されていなかったが、コロナ対応の説明が別途あったように重要な課題であることから、コロナ対応をしっかりと見据え、今後の地域を作っていくかなければいけないと考えている。

一方、千葉圏域だけでなく、千葉県全体を見ると、研究会の構想の中で、病床が充足している地域と不足している地域を分けて検討するという話があったが、不足している地域にはある程度施設を充足させなければいけない課題があり、充足している地域はこれ以上整備するのが妥当ではないと考えられる。

そう考えると、現在不足しているとされている地域で様々な機能を充実させていくにあたり、充足している地域で整備できない部分についても、ある程度引き受けていく計画が必要になると思われる。特に千葉市はそういった期待が大いにあるのではないかとと思われる。

一方、そういった集約をすると患者の増加が考えられ、その集約により各医療機関がパンクしてしまつては、元も子もない。

そういう観点から、従来からの外来をより充実させるとともに、新たな外来の役割をしっかりと見据え、特定の医療機関に患者が集中して医師の働き方改革が実現しないことにならないよう気をつけていかなければいけない。

最後に、保健医療計画の見直しで災害と、災害時の在宅医療の患者についての話があったが、難しい問題と思う。自分以外の患者もしっかりと地域で支えていく体制を作るのは難しいことかもしれない。

例えば単なる情報共有ではなく、医師同士、あるいは医療機関同士、あるいはその他の様々な医療従事者たちがしっかりとしたネットワークを築かなければいけないと思う。

地域医療構想に魂を入れていく上では、そういったことにしっかりと配慮していくことが必要ではないかと考えている。

8 閉会 午後7時45分